



よて

市報

No.13

2006年 4月15日号

4-15

笑顔で新年度

新年度を迎え、笑顔で元気いっぱいな
ますだ保育園の園児たち

目次 Contents

「アンケート調査結果報告」 2

行政情報便

- 組織機構の見直し
- 農業委員選挙結果
ほか

6

地域の話

- NEWS東西南北

14

情報information

- お知らせ
- いどばたプラザ

16

読者の声

20

思えば遠くへ来たもんだ

- 山形麗子さん(増田)

22

巧(たくみ)

- 鈴木節子さん(大雄)

23

横手遺産

- 浅舞のケヤキ(平鹿)

24



市の現状について

問 次の事柄について、現在の横手市をどのように評価していますか

市の現状について、満足度の高い順に「上水道の整備」26.3%、「消防・防災体制の充実度」21.1%、「衛生環境の充実度」18.5%となっています。
一方、不満な項目としては、「新たな地域産業の振興」43.9%、「道路網の整備」41.2%、「商業の振興」40.9%、が上位となっています。

市民の満足度(市の現状)	満足	まあまあ	不満	未記入	(%)
① 自然・歴史的環境の保全と活用について	9.5	70.9	17.2	2.3	
② 住宅・住環境の整備について	6.9	65.0	25.5	2.6	
③ 公園・緑地の整備について	15.7	59.9	22.2	2.2	
④ 上水道の整備について	26.3	56.3	15.2	2.2	
⑤ 下水道等の整備について	15.1	49.0	33.1	2.8	
⑥ 治山・治水の推進について	11.2	67.9	17.3	3.5	
⑦ 消防・防災体制の充実度	21.1	67.7	8.7	2.4	
⑧ 衛生環境の充実度	18.5	61.7	17.8	2.1	
⑨ 交通安全・防犯対策の推進について	11.8	69.7	16.4	2.2	
⑩ 道路網の整備について	10.7	46.4	41.2	1.8	
⑪ 公共交通機関の整備について	8.0	57.5	32.0	2.5	
⑫ 地域情報化の推進について	9.5	59.2	27.0	4.2	
⑬ 保健活動・健康づくりの推進について	15.4	73.6	8.7	2.3	
⑭ 医療体制の充実度	15.6	61.5	21.1	1.9	
⑮ 地域福祉の向上について	9.5	71.4	15.1	4.0	
⑯ 高齢者福祉の充実度	12.1	64.3	20.8	2.7	
⑰ 児童福祉の充実度	7.5	65.3	23.3	3.8	
⑱ 障害者(児)福祉の充実度	6.8	69.0	19.1	5.1	
⑲ 母子(父子)福祉の充実度	7.2	71.2	16.1	5.5	
⑳ 低所得者福祉の充実度	4.4	59.8	30.5	5.3	
㉑ 農林業の振興について	4.1	64.3	26.5	5.0	
㉒ 工業の振興について	2.9	56.8	35.5	4.8	
㉓ 商業の振興について	3.0	51.4	40.9	4.6	
㉔ 観光の振興について	7.0	55.4	34.0	3.6	
㉕ 新たな地域産業の振興について	2.4	48.9	43.9	4.9	
㉖ 学校教育の充実度	8.0	70.0	17.9	4.2	
㉗ 生涯学習の推進について	9.0	74.8	12.2	4.0	
㉘ 地域文化の振興について	8.1	75.8	11.9	4.2	
㉙ スポーツ・レクリエーションの振興について	9.8	70.0	16.4	3.7	
㉚ 男女共同参画社会づくりの推進について	5.5	71.7	18.0	4.7	
㉛ 連携・交流の推進について	4.7	66.5	24.3	4.4	
㉜ 市民との協働・活動支援について	4.1	70.6	21.1	4.2	

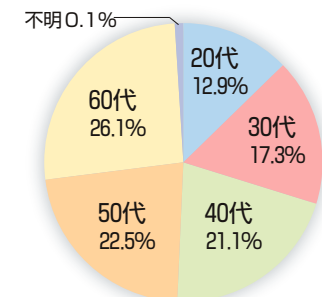
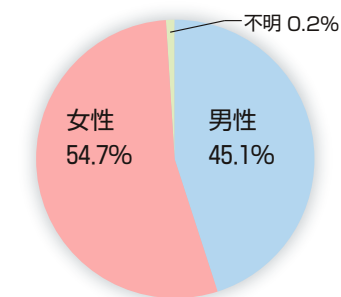


市民が望む横手市の将来像

回答者について

問 あなたの性別は？

男性の回答率が45.1%、女性が54.7%と女性の回答者数が多い結果となっています。

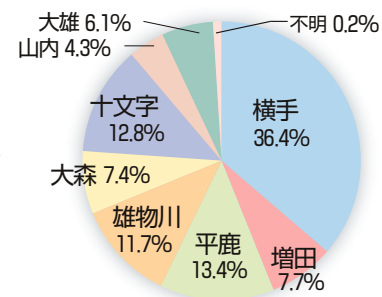


問 あなたの年齢は？

60代の回答率が26.1%でもっとも多く、次いで50代が22.5%、40代が21.1%。全体的には、ほぼバランスの取れた年齢構成となっています。

問 あなたの住まいの地域は？

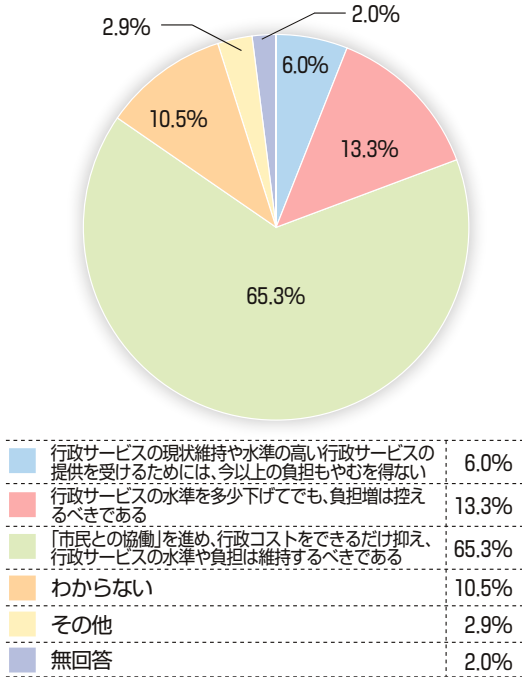
配付数が多い横手の割合が36.4%を占め、次いで、平鹿、十文字、雄物川、増田、大森、大雄、山内の順となっています。



市では、平成18年度から10年間の市政運営の基本指針となる「横手市総合計画」策定の準備を進めています。去る2月、市民の要望・意見を把握し、総合計画策定のための基礎資料とすることを目的に、「横手市のまちづくりに関するアンケート調査」を実施しました。
この調査は、20歳以上の市民の皆さんを対象として無作為に抽出を行い、1万人の方々に調査への協力をお願いし、4,034人(40・3%)の方から回答を得ることができました。
このたびアンケート調査の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

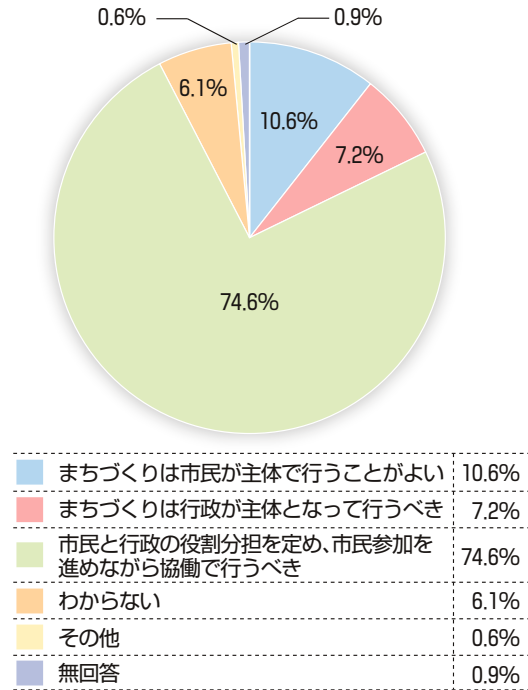
新たなまちづくりの指針、回答率は40・3%





今後の市政運営について、「『市民との協働』を進め、行政コストをできるだけ抑え、行政サービスの水準や負担は維持するべきである」が65.3%で半分以上を占めています。

問 限られた財源の中で、新たな行政課題に対応するために今後どのような市政運営を期待しますか



まちづくりについて、「市民と行政の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行うべき」が74.6%でもっとも多く、次いで「まちづくりは市民が主体で行うことがよい」が10.6%となっています。

問 あなたは、まちづくりの主体をどのように考えますか

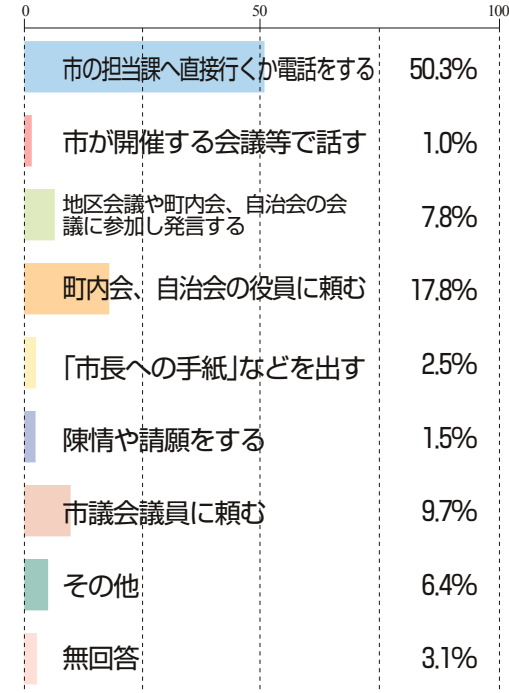
	【横手市の将来像】	比 率
①	行財政基盤を強化し、行政サービスが充実したまち	4.6%
②	福祉施策を充実し、誰もが主体的な人生を送れるまち	9.2%
③	住民提案が施策に反映できるシステムが確立された、双方向自治のまち	5.0%
④	農産物等のブランドを守り育て、地域間競争に勝つ食糧基地としてのまち	7.1%
⑤	教育環境が整い教育と人材育成が充実した文化の薫るまち	5.1%
⑥	企業誘致や起業支援などの一体的な取り組みにより、働く場所があるまち	13.6%
⑦	商工業の振興により、活気に満ちた経済・製造のまち	5.3%
⑧	地域資源を活用した体験型観光のまち	1.4%
⑨	社会資本が整備され暮らしやすいまち	1.7%
⑩	資源循環や自然保護に取り組む環境にやさしいまち	2.3%
⑪	史跡や文化財、伝統などを大切にすまち	1.3%
⑫	保健・医療・福祉施設が充実し健康で安心して暮らせるまち	15.8%
⑬	交通事故や災害、犯罪のない安全なまち	5.3%
⑭	街並みが美しい都市景観に優れたまち	2.0%
⑮	除雪体制や流雪溝などが整備され、雪に強いまち	12.8%
⑯	公共施設の利用を促進し多様な生涯学習に挑戦できるまち	2.2%
⑰	市内であれば、いつでも、どこでも、だれでも高速通信が利用でき、ユビキタス社会(高度情報化社会)の恩恵を受けることができるまち	1.7%
⑱	その他	0.2%
⑲	無回答	3.2%

「保健・医療・福祉施設が充実し健康で安心して暮らせるまち」が15.8%でもっとも多く、次いで、「企業誘致や起業支援などの一体的な取り組みにより、働く場所があるまち」が13.6%となっています。

今回のアンケートでは、多くの市民の皆さんにご回答いただき、非常に有意義な調査となりました。市では、今回の結果をより良い市政運営に反映していきます。ご協力ありがとうございました。
【問い合わせ先】横手市総務企画部企画課：政策調整担当（☎35-2164）

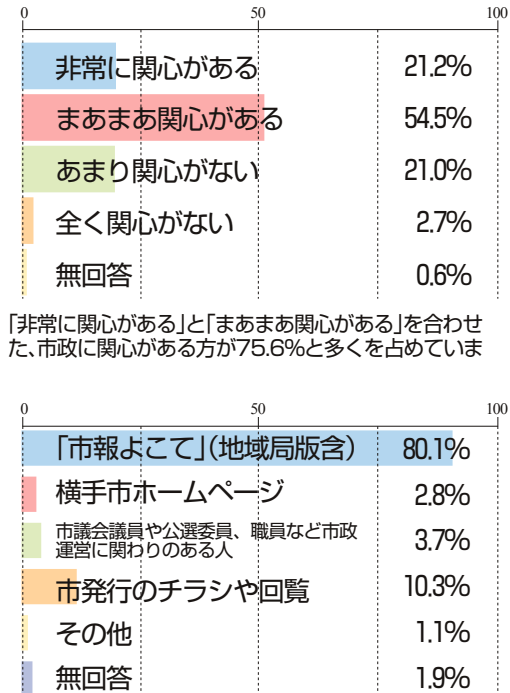
問 横手市が目指すべきまちづくりの将来像をお選びください【複数選択3つ】

あなたが希望する「横手市の将来像」について



市に意見・要望等を伝える手段としては「市の担当課へ直接行くか電話をする」が全体の半数を占めています。

問 あなたは、意見や要望を市に伝えたい場合、どうしますか



問 あなたは、市政に関心を持っていますか

問 あなたは、市の情報を主にどこから得ていますか

	選 択 肢	比 率
①	【雇用促進】 若者の定住の促進と安定した就労の場の創造により雇用促進を図る。	25.0%
②	【保健・福祉・医療の総合的・一体的整備】 住民が心身ともに健やかに暮らせる地域を目指して、保健・福祉・医療の各分野における連携強化を図り、ライフステージに応じた総合的・一体的サービスの提供と地域包括ケアの推進を図る。	17.4%
③	【農林業振興】 安全な農産物の供給基地形成を図り、消費者が安心できる農産物の生産等を図る。	8.2%
④	【男女共同参画推進など】 男女や老若の別、障害の有無など、さまざまに異なる立場にある人々がその違いを認め合うことで、それぞれの権利を尊重しながら、個々の能力を十分に発揮できる生きがいのある社会構築を図る。	4.5%
⑤	【雪との共生・地域資源活用】 豊かで多彩な自然環境や雪との共生を図り、地域資源・観光資源の保全・活用を図る。	8.8%
⑥	【地域情報化の推進】 インターネット等を活用した双方向行政サービスや携帯電話通話エリア拡大などの基盤整備とIT基礎技能習得のためのサポート体制整備を図る。	3.1%
⑦	【地域文化振興と交流の活性化】 伝統的な地域文化の振興を通じ文化財の保存と継承を図り、世代間交流の活性化と市全域の一体感の醸成を図る。	2.8%
⑧	【次世代育成支援】 次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境整備を図る。	17.9%
⑨	【未来型産業の育成】 地域の恵まれた自然環境資源を生かした新たな産業の創造を図る。	7.5%
⑩	その他	0.5%
⑪	無回答	4.3%

問 横手市が今後、特に具体的重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか【複数選択3つ】

※地域別集計の結果でも同様の順位となっています。
取り組みべき具体的な施策として「雇用促進」が25.0%でもっとも多く、次いで「次世代育成支援」が17.9%となっています。

いれからのまちづくりについて

市政との関わりについて

市の職員体制

紹介は課長級以上とさせていただきます。

総務企画部	
【本庁南・北庁舎】	
鈴木 信好	部長
小松田 桂	次長兼総務課長
佐藤 良吉	次長兼人事課長
佐藤 昌男	次長兼国体推進事務局長
小林 良子	秘書（総務課参事・企画推進室長）
藤井 孝芳	企画課長
柴田 恒宏	電算情報課長
石山 清和	国体推進事務局主幹
財務部	
高橋 健幸	部長
長里 恒夫	次長兼管財課長
佐藤 正弘	財政課長
畑田喜代志	契約検査課長
【横手庁舎】	
松川 喜郎	市民税課長
小西 正起	資産税課長
佐藤 敏己	納税課長
福祉環境部	
【大雄庁舎】	
佐々木久雄	部長兼健康の駅推進室長
葛岡 孝一	次長兼保健衛生課長
近 潤行	市民課長
柏加屋健市	環境課長
森屋 輝夫	国保年金課長
願法 廣典	健康の駅推進主幹（横手地域局管内）

市の組織・機構を再編

新市の一体感の醸成・均衡ある市民サービスの提供を目指し

市では、4月1日付けで組織・機構の見直しと人事異動を行いました。

新市として初めての通年業務となる平成18年度。さらなる一体感の醸成と均衡ある市民サービスの提供、サービスの充実を目指し、組織及び機構の見直しを図ったものです。

以下、主な見直しの内容と職員体制についてお知らせします。

組織・機構の見直し

- ① 本庁機能と地域局機能が重複する担当等は、本庁に機能を統合しました。
- ・横手庁舎 税3課及び地域局市民生活課税務担当
- ・平鹿庁舎 農業委員会及び地域局産業振興課農委担当
- ② 建設部
- ・本庁と地域局との役割分担を明確にし、効率的な執行体制の整備を図るとともに、技術職員の能力向上を目指し、本庁機能の拡充を図りました。また、地域局建設課を地域維持課と改称しました。
- ③ 上下水道部
- ・本庁と地域局との役割分担を明確にし、水道部門では1課から4課体制に、下水道部門でも1課から3課体制に本庁機能の拡充を図りました。
- ④ 教育委員会
- ・教育指導課を新設し、教育指導の拡充を図りました。また、学校給食センターの効率的な管理運営を図るため、複数（2、3）のセンターを統括する所

組織・機構の新設、拡充

- ① 男女共同参画の推進
- ・男女共同参画推進室を新設し、男女共同参画推進体制の強化を図りました。（室長は秘書広報課長が兼務）
- ② 国体推進事務局の新設
- ・平成19年の大会に向け、準備室から推進事務局に改称し、体制を現行の8人から14人（他に併任2人）に拡充しました。
- ③ 健康の駅推進室の新設
- ・横手地域局管内のみで実施している「健康の駅」事業を全市的に展開するため、本庁機能として推進室を設け、体制の整備

建設部・上下水道部の組織が見直されました

本庁と地域局との役割分担を明確にし、本庁機能の拡充を図りました。具体的には、下記の通りです。

なお、現場での即時対応や相談活動については、これまで通り地域局が当たります。

本 庁

地域局

※建設課を地域維持課に名称変更

・工事や設計などの技術的な部門を担当します

・これまでの通り、市民からの個別相談や現場での即時対応などを担当します。

を図りました。

- ④ 地域包括支援センターの新設

・当面、市職員3人と社会福祉協議会からの出向職員2人の体制で業務にあたります。

- ⑤ マーケティング推進課の新設

・特産品の開発、販路拡大等の業務を本格的に展開するため、推進準備室から改称するとともに、職員の増員を図りました。

人員の配置、人事交流

- ① 欠員となっている地域局次長（増田、十文字、山内、大雄）を配置しました。
- ② 岩手県北上市と人事交流（1人）を行います。

【大森庁舎】	
佐藤 耕一	福祉事務所長
加賀谷惣一	次長兼社会福祉課長
島山久美子	子育て支援課長
浮嶋 伸	高齢ふれあい課長
【各施設】	
照井 静信	大和児童館長
高橋 俊一	通所療養施設長
斎藤 正樹	養老老人ホームひかり荘施設長
遠藤 登	特別養老老人ホームいづの郷施設長
半田 輝一	特別養老老人ホーム雄水南施設長
安田 章悦	特別養老老人ホーム白鳥園施設長
菊地 均	介護老人保健施設老健わたり事務長
加藤 吉雄	特別養老老人ホーム緑南園施設長
得平 次夫	特別養老老人ホーム鶴寿苑施設長
高橋 正	東部環境保全センター所長
菊地 晴男	西部環境保全センター所長
皆川 榮	南部環境保全センター所長
伊藤 江吉	構想衛生センター所長
石川 博	雄物川衛生センター所長
産業経済部	
【増田庁舎】	
阿部 充	部長
高橋 和吉	次長兼農政課長
石川 進一	次長兼観光物産課長
高橋 信行	農林整備課長
藤井 靖己	商工労働課長
小川 孝行	マーケティング推進課長
建設部	
【十文字庁舎】	
佐藤 賢一	部長
織田 信夫	次長兼道路河川課長
佐藤 正信	次長兼都市整備課長
石塚 好明	建設監理課長
鈴木 弘志	都市計画課長
最上 恵一	建築住宅課長
上下水道部	
【山内庁舎】	
田口 春久	部長

木下 利章	次長兼水道総務課長
丸谷 秀夫	次長兼下水道管理課長
佐藤 正晴	下水道整備課長
【横手庁舎】	
菊池 由孝	水道配水課長
斎藤 一	水道業務課長
鈴木 康和	下水道維持課長
【大沢清水場】	
伊藤 一彦	浄水課長
会計課	
【横手庁舎】	
小野タツ子	会計課長
議会事務局	
【横手庁舎】	
内田 一之	議会事務局次長
島山 富雄	議会事務局次長
選挙管理委員会事務局	
【横手庁舎】	
葛屋 良一	選挙管理委員会事務局次長
監査委員会事務局	
【横手庁舎】	
佐藤 矩男	監査委員会事務局次長
内藤 稔	監査委員会事務局次長
農業委員会事務局	
【平鹿庁舎】	
照井 清司	農業委員会事務局次長
千田 幸咲	農業委員会事務局次長
教育委員会	
【雄物川庁舎】	
伊藤 孝俊	教育次長兼教育指導課長
小野 順一	教育次長兼中央図書館長
尾形 純治	参事兼教育総務課長
魚谷 修	学校教育課長
築山 富	生涯学習課長
【平鹿庁舎】	
藤谷 義光	スポーツ振興課長
柴田 健悦	文化財課長（旧野小分校内）
金澤 進	教育センター所長

山石 一実	構想推進学習センター所長
小西 稔	構想推進学習センター主幹
石上 文男	構想中央公民館長
松浦 利明	増田生涯学習センター所長
遠藤 定信	平鹿生涯学習センター所長
佐々木裕治	雄物川生涯学習センター所長
太田 和昭	大森生涯学習センター所長
奥州 薫	十文字生涯学習センター所長
照井 礼司	山内生涯学習センター所長
藤谷 正人	大雄生涯学習センター所長
地域局	
【横手地域局】	
奥 清治	次長兼地域振興課長
黒澤 純一	市史編さん室長
手賀 茂	市民生活課長
高橋 隆一	福祉保健課長
高橋 敏雄	保健センター所長
運藤 正	産業振興課長
石山 昭一	地域維持課長
【増田地域局】	
島山 仁	次長兼地域振興課長
泉谷 功	市民生活課長
石田 正	福祉保健課長
高橋 幸一郎	総合子育て支援施設長
遠藤 晴美	産業振興課長
阿部 治徳	地域維持課長
【平鹿地域局】	
高橋 孝一郎	次長兼地域振興課長
菅 永義	市民生活課長
原 ヨシミ	福祉保健課長
中澤 誠一	産業振興課長
大坂谷 潤	地域維持課長
【雄物川地域局】	
佐藤 博高	次長兼地域振興課長
五十嵐 久一	市民生活課長
佐藤 芳美	福祉保健課長
福岡 新作	産業振興課長
柴田 清治	地域維持課長

消防署及び市立横手病院、市立大森病院の体制については、次号でお知らせします。

真人公園(増田)

■真人公園さくらまつり
会期 4月21日(金)～5月5日(金)
会場 真人公園

「全国さくら名所100選」に指定され、県内屈指の桜の名所として知られる真人公園。期間中は「名物たらいこぎ競争」をはじめ、たくさんのイベントで皆さんのご来園をお待ちしています。

■主なイベント
4月23日 三平そば早食い競争
4月29日 名物たらいこぎ競争 など

■問い合わせ先
増田町観光協会(☎45-5515)



横手公園(横手)

■よこて桜まつり
会期 4月21日(金)～4月30日(日)
会場 横手公園



横手城と桜の調和が見事な横手公園。穏やかな日差しと香しい風が悠久の時の流れを感じさせます。

■主なイベント
4月22日 ファンタジックライトショー
4月29日 さくらの宴
5月3日 観桜駅伝競走 など

■問い合わせ先
横手市商工会議所・桜まつり委員会事務局
(☎321-1170)

春風に誘われて 横手さくら名所案内

大森公園(大森)

古城跡にある大森公園は東北の吉野山ともいわれる桜の名所で、秋田三十景にも選ばれています。

■主なイベント
4月22日 ぼんぼり点灯
4月29日 グラウンドゴルフ大会
5月6日 ゲートボール親善大会 など

■問い合わせ先
大森町観光協会
(☎26-2117)



■大森公園さくらまつり
会期 4月22日(土)～5月7日(日)
会場 大森公園

梨木公園(十文字)



■梨木公園
ぼんぼり点灯
4月15日(土)～5月7日(日)
会場 梨木公園

梨木公園は道路沿いにある美しい公園で、桜の開花時期には池全体を囲むように約70本の桜が咲き誇ります。また、4月下旬から5月初めに掛けて、桜とともに優雅に泳ぐ約70尾ほどのこいのほりを楽しむことができます。

■問い合わせ先
十文字地域局・産業振興課(☎42-5116)

横手 フォトコンテスト 2006

■応募総数192点
■最優秀賞に高橋寿さん、五十嵐邦彦さん

数々の秀作に、横手の魅力再発見

横手市の魅力を広く知ってもらうと「冬」を題材に作品を募った「横手フォトコンテスト2006冬」の審査会がこのほど行われ、風景部門、イベント部門合わせて22点の入賞作品が決まりました。

今回が初めての開催となるコンテストには、県内外から70人、192点の応募があり、風景部門では、高橋寿さん(湯沢市)の「落日」が、イベント部門では、五十嵐邦彦さん(雄物川)の「師走の頃」が、それぞれ最優秀賞に輝きました。

【風景部門】(敬称略)

▽優秀賞Ⅱ「異次元の冬」(加藤勝義・増田)、「雪花城」(小



冬の風物詩となっている山内地域名産の「いぶりがっこ」づくり。

田嶋清美・横手)
▽入選Ⅱ石川勘左衛門(湯沢市)、佐々木茂(大仙市)、佐藤勇(平鹿)
▽佳作Ⅱ伊藤昭雄(横手)、渡部善一(横手)、加賀谷良助(横手)、山口ゆうこ(秋田市)、加藤勝義(増田)

【イベント部門】(敬称略)

▽優秀賞Ⅱ「暖かな灯につつまれて」(高橋隆一・横手)、「少女」(津川博光・東京都)

▽入選Ⅱ寺田芳雄(横手)、下澤良男(美郷町)、高山憲男(横手)

▽佳作Ⅱ高橋信夫(羽後町)、渡部善一(横手)、中賢一郎(福岡県)、佐藤祐昂(平鹿)、大友忠四郎(大仙市)

入賞作品は、4月17日から26日までかまくら館(中央町)に、4月28日から5月7日までまんが美術館(増田町)に展示されるその後、各地域局に展示される予定です。また、市のホームページでもご覧いただけます。

■フォトコンテスト第2弾募集

春から秋にかけての行事、風景等を撮影した作品を募集します。詳しくは、17ページをご覧ください。

平成17年度 増田町観光写真コンテスト

増田町観光協会が主催した「平成17年度増田町観光写真コンテスト」の審査が行われ、応募総数114点の中から、杉本昭一さん(湯沢市)の「憩いのひととき」が最優秀賞に選出されました。なお、その他の入選者については市ホームページに掲載してありますのでご覧ください。



最優秀賞の「憩いのひととき」



風景部門最優秀賞

【落日】 高橋 寿

皆瀬川白鳥飛来地(十文字地域志摩地区)から望む夕日と鳥海山。

●農業委員会委員一般選挙選挙結果

氏 名		得票数
【横手選挙区】 定数 7		
有権者数 投 票 率	6,165人 56.37%	投票者数 3,475人
当	高橋 輝男	677.551
当	松井 長助	658
当	鎌田 進	494
当	高瀬 俊作	454
当	菊谷 篤	368
当	近江谷 久雄	305
当	高橋 幹夫	276.448
当	鶴田 和夫	226
【増田選挙区】 定数 3 (無投票)		
当	平良 木 保	
当	佐藤 久夫	
当	岩谷 寛	
【平鹿選挙区】 定数 7 (無投票)		
当	高橋 昭	
当	佐藤 誠一	
当	菅原 一太郎	
当	飯野 正和	
当	佐藤 義雄	
当	佐々木 喜太郎	
当	藤原 博	
【雄物川選挙区】 定数 7		
有権者数 投 票 率	5,368人 68.48%	投票者数 3,676人
当	近江 清廣	674
当	吉田 茂	644
当	辻田 與五郎	625
当	播磨 利光	380
当	佐々木 善一	306.019
当	佐々木 正男	299.98
当	渡邊 良一	264
当	佐藤 洋一	238
当	高橋 良昭	220
【大森選挙区】 定数 5 (無投票)		
当	田口 元 義信	
当	佐々木 賢太郎	
当	丹波 繁	
当	佐藤 仁	
【十文字選挙区】 定数 5 (無投票)		
当	佐々木 茂晴	
当	丹 健一	
当	齋藤 和夫	
当	菅原 孝一	
当	石川 義春	
【山内選挙区】 定数 2 (無投票)		
当	高橋 幸子	
当	石沢 英夫	
【大雄選挙区】 定数 4 (無投票)		
当	小棚木 昭彦	
当	小松 高義	
当	松下 昭治	
当	岡根 弘幸	

●農業団体から推薦された委員

氏 名	推薦団体名	地域名
猿橋 幸之助	平鹿農業共済組合	横手
小西 倉之助	おものがわ農業協同組合	雄物川
高橋 茂	土地改良区（管内土地改良区より選任）	雄物川
佐藤 修一	秋田ふるさと農業協同組合	十文字

※農業団体からの推薦とは？

農業委員会には、農家の代表機関の組織および運営の確立を図るため、農業団体から委員各1名を選任することが法律によって規定されています。



岡根 弘幸 氏



高橋 幸子 氏



佐藤 仁 氏



佐々木 正男 氏



猿橋 幸之助 氏



石沢 英夫 氏



佐々木 茂晴 氏



渡邊 良一 氏



小西 倉之助 氏



小棚木 昭彦 氏



丹 健一 氏



田口 元 氏



高橋 茂 氏



小松 高義 氏



齋藤 和夫 氏



佐々木 義信 氏



佐藤 修一 氏



松下 昭治 氏



菅原 孝一 氏



丹波 賢太郎 氏



石川 義春 氏



斉藤 繁 氏



藤原 博 氏



高橋 昭 氏



菊谷 篤 氏



近江 清廣 氏



佐藤 誠一 氏



近江谷 久雄 氏



吉田 茂 氏



菅原 一太郎 氏



高橋 幹夫 氏



高橋 輝男 氏



辻田 與五郎 氏



飯野 正和 氏



平良 木 保 氏



松井 長助 氏



播磨 利光 氏



佐藤 義雄 氏



佐藤 久夫 氏



鎌田 進 氏



佐々木 善一 氏



佐々木喜太郎 氏



岩谷 寛 氏



高瀬 俊作 氏

農政を担う 委員決まる

農業委員会委員一般選挙結果
第1回農業委員会総会開催

●農業委員会委員一般選挙結果
任期満了に伴う横手市農業委員会委員一般選挙が3月19日に告示され、横手選挙区で8人（定数7人）、雄物川選挙区で9人（定数7人）が立候補。公選による定数を超えたため、3月26日に投票が行われ、横手地域局と雄物川地域局で即日開票されました。

なお、増田（定数3人）、平鹿（定数7人）、大森（定数5人）、十文字（定数5人）、山内（定数2人）、大雄（定数4人）の選挙区では公選による定数を超えなかったため、無投票での当選となりました。

●会長に高瀬氏、会長職務代理者に近江氏
4月3日、公選による委員40人と農業団体から推薦された委員4人が出席し、第1回横手市農業委員会総会が浅舞公民館で行われました。

総会では、会長と会長職務代理者の互選が行われ、委員からの推薦により、会長に☑高瀬俊作氏（横手）が、会長職務代理者には、近江清廣氏（雄物川）が選任され、横手市農業委員会が新体制でスタートしました。

がんばれ スギツキ



～国体だより～
No.1

いよいよ来年は国体の年です。秋田県では46年ぶりの開催となる第62回国民体育大会。今年の兵庫国体からは、夏季大会と秋季大会が一本化され、まさに国内最大級のスポーツイベントの開催になります。ここ横手市でも4競技が行われ、選手をはじめ全国から多くの方々が訪れます。国体は人との出会い、ふれあいのチャンスがいっぱいです！そして競技を間近で観戦できる絶好のチャンスです！「国体だより」では、今後、横手市で開催される競技内容などを紹介していきます。



軟式野球(一般B)
平成19年9月30日(日)
～10月3日(水)
会場：平鹿野球場
大森野球場
スタジアム大雄



バレーボール(少年男女)
平成19年10月5日(金)
～10月8日(月)
会場：横手体育館
雄物川体育館
増田体育館



**ボウリング(少年男女)
(成年男女)**
平成19年9月30日(日)
～10月4日(木)
会場：台由ボウル



ホッケー(成年男女)
平成19年9月30日(日)
～10月4日(木)
会場：十文字陸上競技場

■国体に関する問合せは
総務企画部国体推進事務局
(平鹿庁舎内) ☎35-2171

市長です

こんにちは

横手市長 五十嵐 忠悦

桜の開花間近です

北上を続ける桜前線がもうすぐわが横手市にもやってきます。この市報が皆さんのお手元に届く頃には、花も咲き始めているのではないのでしょうか。桜と聞いて思い浮かぶのは「美しくも儂い」といった言葉。厳冬に耐え、一年の僅かな期間だけ、その可憐な花を咲かせる桜の姿に、日本人は心を寄せるのでしょう。市内にも真人公園をはじめ、横手公園や大森公園などたくさん桜の名所があります。また、規模が小さくても地域に愛されている桜、あまり知られていない桜の見所などもたくさんあると思います。桜の名所として知られる弘前公園の樹木医が「的確なせん定と施肥を行えば桜に寿命はない」と語っています。いつまでも美しい花を咲かせてほしいと願うわけですが、そのためには日ごろの管理が重要というわけです。この4月から、市内全域を対象にスタートした

「公共施設市民サポーター制度」。この制度を活用し、市民と行政が一体となり、桜を守り育てていくというのはどうでしょう。「観る」楽しみに「守り育てる」楽しみが加われば、桜への思い入れは一段と深まるのではないのでしょうか。ご検討ください。さて、4月23日(日)に、新市の一体感の醸成とさらなる発展を誓い合う機会として、横手市誕生記念式典を秋田ふるさと村で開催します。式典では市町村合併に際してご尽力いただいた功労者の皆さんを表彰し、市民の皆さんによる伝統芸能を披露するなど、さまざまな催しを計画しています。参加に際しては事前の申し込みが必要ですが、ぜひ皆さんの市民の皆さんに喜び合いたいと思います。桜の開花も例年より若干早まるとのこと。満開の桜の下、皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。



子育て

児童手当が小学校6年生修了前まで拡大されます

現在、小学校3年生修了前のお子さんを養育している方に支給されている児童手当が、小学校6年生修了前までに拡大され、所得制限も引き上げられます。

	改正前	改正後
対象年齢	小学校第3学年修了前 (9歳到達後最初の年度末)	小学校修了前 (12歳到達後最初の年度末) ※平成6年4月2日以降に生まれた児童
支給額	第1子・2子 5,000円(月額) 第3子以降 10,000円(月額)	第1子・2子 5,000円(月額) 第3子以降 10,000円(月額)
支払時期	2月・6月・10月	2月・6月・10月 ※支給額、支払時期は変わりません。

●児童手当の支給を受けるには？

- ★児童手当は、養育者から認定請求の手続きが必要となります。各地域局福祉保健課へ認定請求書を提出してください。
- ★請求書の他に「健康保険被保険者証等の写」「所得証明書」など必要に応じて添付書類を提出していただくことがあります。
- ★所得制限により児童手当を受けていない方は、所得制限の引き上げに伴い受給できる場合がありますので、認定請求の手続きが必要となります。

＜新規に請求する方＞

- ・対象者には認定請求書を送付しますので、各地域局福祉保健課へ提出してください。平成18年9月30日まで受付けたものに限り、特例的に4月1日までさかのぼって支給されます。(注意：9月に請求した場合、事務処理上、10月の支払に間に合わない場合がありますので、早めに提出してください)

＜児童手当を現在受けている方＞

- ・6月に「現況届」、5・6年生のお子さんもいる場合は「額改定認定請求書」を送付しますので、各地域局福祉保健課へ提出してください。

今回の 市長面会日 のお知らせ

市民の皆さんのご意見、ご提案をこれからの市政に反映させるため、市長が直接お話を伺います。

■対象者
横手市民または横手市内の会社や学校に通勤あるいは通学されている方

■日 時 (月1回開催)
4月27日(木)午後1時30分～3時
※1人あたり15分まで(定員6人)

■場 所
市役所本庁南庁舎応接室
(旧横手平鹿広域交流センター)

■申込方法
4月24日(月)までに、電話・ファクス・メールのいずれかで、氏名・住所・連絡先・お話の内容をお知らせください

■申込み・問合せ
市総務企画部秘書広報課秘書担当
☎35-2111内線1033 ☎35-2221
Eメール = hisho@city.yokote.lg.jp

現在、児童手当等を受けていますか？

はい → 小学校4年生修了前のお子さんだけです？

いいえ → 小学校5・6年生の児童もいます

はい → 「現況届」を提出してください (6月30日まで)

いいえ → 「額改定認定請求書」「現況届」を提出してください (6月30日まで)

いいえ → 「認定請求書」を提出してください (9月30日まで)

注意：平成18年10月1日以降の請求については、請求した月の翌月分からの支給となります。

■問合せ ◇福祉環境部 子育て支援課(大森庁舎内) ☎26-2113
◇各地域局福祉保健課(公務員は勤務先へ)

新体制に決意新た

■スポーツ少年団交流会(大森)

3月21日、大森地域でバスケットボールや野球などのスポーツ少年団に入団している団員の交流会が大森体育館で行われました。

これは、地域内のスポーツ少年団の交流と親睦を図ることを目的として毎年行われているもので、この日は卒業により退団する6年生も含め約160人の団員が参加。チーム別に分かれての綱引きやジャンボ縄跳びなどで心地よい汗を流し、4月からの新チーム結成に向け、気持ちを新たにしていました。



チーム別に分かれての綱引きで汗を流す団員



マジックショーに見入る子どもたち

みんなで体験、楽しいね！

■元気に遊ぼう！「わんぱくデー」(十文字)

3月23日、十文字文化センターにおいて、春休みの子どもたちを対象とした特別企画「わんぱくデー」が開催され、十文字地域の小・中学生約100人が参加しました。

この催しは、各種体験を通じて児童・生徒の豊かな心を育み、地域みんなで交流を深めることを目的に開催されたもの。参加した子どもたちは、おはなしばぽの皆さんによるおはなし会や地元のマジック名人・藤原英樹さんによるマジックショーを楽しんだり、茶道やアイス作り、エアロビクスなどを体験しながら楽しい一日を過ごしました。



講師は、菓子店「あん庵」の和菓子職人、小林清さん

職人の技を家庭でも

■和菓子作り講習会(山内)

職人を講師に迎えて和菓子作りを学ぶ講習会がこのほど、山内公民館を会場に3回の日程で行われ、受講者の皆さんは、いちご大福や桜もちなど、おなじみの和菓子6種類の作り方を学びました。

ケーキなどの洋菓子と違い、普段は作る機会の少ない和菓子。受講者のほとんどが「和菓子は買って食べるけれども、自分で作るのは初めて」という方ばかりでしたが、職人の技を少しでも身につけ家庭でも披露しようと、真剣な表情で取り組んでいました。



ハーモニカの涼やかな音色が鳴り響く

熱演に拍手喝采

■第27回大雄生涯学習発表会(大雄)

3月26日、大雄交流研修館「ふれあいホール」において、大雄生涯学習発表会が開催され、大雄地域をはじめ、市内で活動している39組の団体が踊りや歌など、日ごろ練習した成果を披露しました。

この発表会は、大雄公民館と大雄地区生涯学習奨励員協議会が主催し恒例となっている行事で今回で27回目の開催。それぞれの団体が趣向を凝らしたステージ発表が披露され、開催を待ちわびて会場に訪れたたくさんの観客から盛んな拍手が贈られていました。



試食後は、山本さんが「温かい人情でもてなそう」と講演

深雪は「天然の冷蔵庫」

■「雪室」で日本酒を貯蔵(増田)

3月23日、昔ながらの「雪室」づくりが増田地域のふると公園(上畑温泉さわらび隣り)内で行われ、日本酒を貯蔵する作業が行われました。

雪室には、地元産の吟醸酒や純米酒など一升瓶(1.8ℓ)換算で約500本のお酒を貯蔵。小型ロータリー除雪車で約70ℓの雪を覆いかぶせ雪室を完成させました。雪室内の温度は2～3度と一定に保たれることから、通常のものに比べまろやかに仕上がるとのこと。関係者は、「貯蔵した酒は6月中旬に掘り出したい」と話しています。

国体に向け料理界の名工が提案

■創作料理DEおもてなし(横手)

3月26日、地元の食材を使用した創作料理の試食会が秋田ふると村で開催され、そのレシピが参加者に披露されました。これは、来年の秋田わか杉国体・わか杉大会に訪れる県外客をもてなす際に役立ててもらおうと、上畑温泉さわらびの総料理長で平成15年に現代の名工に選ばれた山本省三さんの監修により行われたもの。提案された料理は、発芽玄米と牛肉のしゃぶしゃぶや秋茄子のそうめんなど、計4品。参加者は「身近な食材がアイデア次第で変身するんですね」と感心した様子で舌鼓を打っていました。



新酒の入ったケースを雪室に運び込む作業員

トロンボーンの演奏に聞き入る

■ひらか荘で演奏会(平鹿)

4月3日、養護老人ホームひらか荘で、よこてニューフィールドトロンボーンアンサンブルの藤原優さん、柴田和弥さん、柿崎雄太さん、佐藤久富さんが演奏会を行いました。このグループは、平鹿中学校吹奏楽部のOB6人が、進学などで地域を離れた2年前に結成。地域の皆さんとのふれあいや関わりを無くしたくないと、春休みを利用して、老人ホームや児童施設などで演奏会を行っています。入所者の皆さんは「普段は生の演奏を聴く機会が無いので、来てくれてとても嬉しい」と話していました。



演奏された懐かしいメロディーに聞き入る皆さん

事故なく無事帰るように

■新入学児童に交通安全マスコット(雄物川)

雄物川町商工会女性部(大庭喜美子部長、会員32人)が、雄物川地域の小学校の新入学児童83人に交通安全マスコットを贈りました。このマスコットは、事故なく無事帰るようにとの願いを込め、カエルの顔を模して会員が手作りのもので「お詣りの街 ご利益マスコット」のひとつです。4月7日、福地小学校で行われた贈呈式で大庭部長は「皆さんを守ってほしいとの願いを込めて作りました。交通ルールを守って事故にあわないようにしてください」とあいさつ。児童たちは、ありがとうと笑顔を見せていました。



児童一人ひとりにマスコットが配られました

情報

●お知らせのページ●

開発調整担当

☎42-5117

期限切れ水道メーターの交換にご協力ください

ご家庭の水道メーターの使用期限は法律により8年と定められており、期限内の交換が義務付けられています。期限切れとなるメーターについては、今月から11月にかけて交換作業を行います。対象となる方には事前にお知らせしますが、市が委託した水道工事事業者が伺いした際にはご協力をお願いします。なお、交換にあたって費用はかかりませんが、交換以外の修理などの必要がある場合は、別途負担していただくこととなりますのでご了承ください。

■問合せ 市上下水道部水道業務課（横手庁舎内）
☎32-2758

工場立地法による届出に関するお知らせ

次に該当する事業所について、これまでは県への届出が必要でしたが、4月からは市に届出をしていただくことになりました。今後、工事を予定されている事業所は、原則として工事開始予定日の90日以上前に届出をする必要があります。この場合、

緑地面積等の確保や生産施設面積の制限がありますので、詳しくはお問い合わせください。

■該当業種 製造業、電気供給業、ガス供給業、熱供給業

■該当要件 次のいずれかに該当する工場等を新設または変更しようとする場合
☑敷地面積が9,000㎡以上
☑建築物の建築面積の合計が3,000㎡以上

■問合せ 市産業経済部商工労働課工業振興担当（増田庁舎内）
☎45-5516

ご活用ください「安全・安心まちづくり活動支援助成金」

秋田県では、町内会やPTA、老人クラブ等の地域住民団体が取り組む防犯・防災活動に対して、15万円を上限として支援する助成金制度を実施しています。対象となる活動や申し込み方法等、詳しくはお問い合わせください。

■申込期限 5月19日（金）消印有効

■問合せ 秋田県民文化政策課安全・安心まちづくりチーム
☎018-860-1522

ゴールデンウィーク期間臨時開館のお知らせ

石坂洋次郎文学記念館と後三

市民広場に集合！

■コース 旭地区（薬師堂清水↓生の森三十三観音）↓栄地区（大屋の梅↓大屋沼）

■参加料 無料（定員20人）

■申込先 横手地域局産業振興課（かまくら館内）
☎33-7111

かまくら押し花倶楽部「押し花展・花絵展」

横手市内在住の柴田京子さんによる作品を展示しています。

■期間 4月25日（火）まで
■場所 南部シルバーエリアミニミニギャラリー

■入場料 無料

横手市フォトコンテスト

横手市の春・夏・秋の風景、またはイベントを題材とした写真作品を募集します。応募作品は、観光パンフレットやポスター等の素材として、横手市の紹介や宣伝に活用されます。

■表彰		
最優秀賞	1点	賞金50,000円
優秀賞	2点	賞金30,000円
入賞	5点	賞金20,000円
奨励賞	10点	賞金5,000円

■応募先
(日)〒019-0792 横手市増田町増田字土肥館173 横手市役所産業経済部観光物産課
(月)横手市役所各地域局産業振興課商工観光担当
(火)横手平鹿写真材料店（写真組合・市内13店舗）
(水)富士フィルムイメージングカラープリント取扱い店
※応募方法等、詳しくは備え付けの応募要領をご覧ください

■応募締切 平成18年12月15日（金）必着
■問合せ 市産業経済部観光物産課（増田庁舎内）
「横手市フォトコンテスト」事務局 ☎45-5519

自然や景観を大切に！環境保全「4つのお願い」



(日)野焼き（ごみ焼き）はやめて！
ごみを屋外で燃やすのは法律で禁止されています。小型簡易焼却炉を使う場合も、一定の規格や構造基準を満たしていなければ焼却することはできません。

(月)不法投棄は犯罪です！
「誰かがあなたを見ている」ポイ捨てや不法投棄はやめましょう。悪質な犯罪として、パトロールなどの対策も強化しています。

(火)犬の散歩マナーを守って！
犬を散歩させる場合は、フンの後始末などをきちんとし、みんなが利用する道路や河川敷、公園などを大切にしましょう。

(水)油漏れ事故に注意！
自宅の灯油用ホームタンクの配管に、腐食やひび割れはありませんか。ポリ容器に給油する際も場所を絶対離れず、油の流失事故防止に努めましょう。

■問い合わせや相談は
市福祉環境部環境課（大雄庁舎内） ☎35-2184
または各地域局市民生活課環境防災担当へ

第19回 国道13号一斉クリーンアップ

国道13号雄勝トンネルから旧西仙北町大佐沢公園まで、全長90キロの一斉クリーンアップを実施します。私たちの手で美しい街を作りましょう。
■日時 4月16日（日）午前8時集合（終了次第解散）
■問合せ 明るい社会づくり運動秋田県南ブロック協議会実施事務局 ☎33-6604

■問合せ 南部シルバーエリア
☎26-3880

第15回 秋田作業療法学会一般公開

秋田県作業療法士会では、県民の皆さんの保健・医療・福祉の発展に貢献するため、学会の一般公開を実施します。テーマは「人の生涯にわたる発達と作業療法」。東北福祉大学の木村進先生による特別講演もあります。
■期日 4月23日（日）午前8時50分開会

■場所 秋田拠点センターアルヴェ2階秋田市民交流プラザ多目的ホール（秋田駅東口）

■内容

☑指定演題発表（発達障害領域からの報告、精神障害領域からの報告、身体障害領域からの報告）
☑特別講演「障害をもっている人の心理過程と生涯発達」

■問合せ 秋田県作業療法士会事業部
☎018-884-6534

講習講座

えがおの丘水泳教室

新規会員を募集

雄物川温泉えがおの丘では水

泳教室を実施しています。年齢や目標に応じたさまざまなコースを用意しておりますので、お気軽にお申し込みください。

■コース

- 学童コース（小学生）
 - 成人コース（クロール・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライのレベルアップコース）
 - レディースコース（18歳以上）
 - シルバーコース（50歳以上）
 - アクアビクスコース（18歳以上）
 - プール浴コース（40歳以上）
 - エンジョイ・アクアコース（50歳以上）
- 申込み 雄物川温泉 えがおの丘 ☎22-2221

大曲技術専門学校 県・能力向上コース講習会

仕事をしている方を対象とした講習会です。

○エクセル関数活用編講習 5月9日（火）～10日（水）
○NC旋盤加工編講習 5月11日（木）～12日（金）
○マシニングセンタ加工編講習 5月17日（水）～18日（木）

■時間 午前9時～午後4時
■場所 大曲技術専門学校

■受講料 無料

■申込み 大曲技術専門学校 民間訓練事務局
☎0187-62-6321

「ね・ま・くれ」ボディポテンシャルトレーニング体験

ボディポテンシャルとは、人間が持つ潜在的な能力を目覚めさせ、身体の機能回復・改善を図ることを目的とした健康運動です。お気軽にご参加ください。

■日時 4月21日(金)午前10時～12時

■場所 コミュニティハウス ね・ま・くれ(十文字駅前通り旧こまつ呉服店)

■講師 金澤直子先生

■参加料 無料

■問合せ コミュニティハウス「ね・ま・くれ」☎42-5320

募集



育てよう！私の苗木「苗木のホームステイ」参加者募集

平成20年に秋田県を会場に開催される全国植樹祭の前に、苗木を育てていただく「苗木のホームステイ」を実施します。これは、参加者1人につき2本の苗木と必要な資材を配布し、育てていただいた後に、そのうち1本を植樹祭用に提供していただくというものです。

■参加資格 各種団体、事業所等(個人では参加できません)

■配布本数 計4,000本(1団体200本を上限とし、申込多数の場合抽選により決定)

■申込期限 4月28日(金)まで

■申込方法 秋田県平鹿地域振興局森づくり推進課から市役所各地域局産業振興課にある申込書に記入して、郵送かファクスでお申し込みください。

■申込先 秋田県農林水産部全国植樹祭推進室「苗木のホームステイ」係

☎018-860-1751

※詳しくはホームページをご覧ください。(http://www.pref.akita.jp/zenshoku/index.html)

相談



1人で悩まず相談を「精神保健福祉相談日」

市福祉事務所では、毎月第3木曜日に精神保健福祉相談を実施し、こころの悩みの相談に応じています。一人で悩まず、まずは専門家にご相談ください。

■時間 午後2時～4時

■場所 横手地域局福祉保健課内相談室

■申込み 市福祉事務所社会福祉課(大森庁舎内)

☎26-2112

**市立横手病院
職員募集のお知らせ**

■職 種	看護師
■採用人数	2名程度
■採用年月日	平成18年6月1日以降の予定
■応募資格	・看護師免許を有する方 ・昭和56年4月2日以降に生まれた方 ・通勤に支障のない範囲に居住できる方
■試験期日	5月13日(土)、14日(日)
■試験場所	市立横手病院4階会議室
■申込期限	4月28日(金)必着
■申 込 み	〒013-8602横手市根岸町5-31 市立横手病院総務課 ☎32-5001

学校支援ボランティア募集！
～みんなの力で子どもたちを支援しませんか～

市教育委員会では、小・中学校の教育活動の向上のため、ボランティアとして登録し、お手伝いして下さる方を募集します。横手市の将来を担う子どもたちのために、ぜひ皆さんの力をお貸しください。

■活動内容 (日)環境整備支援(図書整理、除草や除雪、植木の剪定、遊具の点検、校舎等の補修、校内外の美化など)
(月)教育活動支援(読み聞かせ、農作業指導、外国語指導、伝統芸能指導、部活指導、安全パトロールなど)

■登録期間 登録期間は、3月31日までとし、学校からの依頼があった際に活動していただきます

■応募資格 市内在住の高校生以上の方(免許、資格の有無は問いません)

■応募方法 電話、ファクス、メール等でご連絡ください

■応 募 先 市教育委員会生涯学習課(雄物川庁舎内)
☎22-2155 ☎22-2116
メール: shogaigakushu@city.yokote.lg.jp

いどばた プラザ

市民主催の催し等をお知らせするコーナーです



横手かまくら吟社 第55回 観梅俳句大会
恒例の俳句大会を開催します。

日 時 ●4月24日(月)午前10時30分開会
(投句受付は午前10時～10時40分)

場 所 ●さかえ館

参加費 ●2,500円(昼食、懇親会費含む)

問合せ ●横手かまくら吟社事務局 山崎さん
☎32-6324

横手ハングル研究会「初級韓国語講座」
韓国人講師による講座です。ハングル文字の読み書きや簡単な日常会話を中心に基礎から学びます。

期 日 ●5月から8月までの毎週水曜日(午後2時～4時)

場 所 ●県南部男女共同参画センター(定員10人)

受講料 ●月2,500円(初回のみテキスト代2,000円)

申込先 ●県南部男女共同参画センター ☎33-7018
(4月21日午前10時から申し込み開始)

歌の好きな人集まれ！ 思いっきり歌声喫茶
僕のクラリネット、てんとう虫のサンバほか数曲を予定。参加希望の方はご予約ください。

日 時 ●5月11日(木)午後7時開演

場 所 ●レストラン煉瓦屋(寿町)

参加費 ●1,000円(軽食付き)

問合せ ●レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

かまくら館 つかえる英語講座
アメリカ人講師による講座。受講生によるフリートークもあります。見学、再受講大歓迎。

日 時 ●4月25日(火)、5月9日(火)午後7時～9時

場 所 ●かまくら館

受講料 ●1回1,000円(初回無料)

問合せ ●若林さん ☎32-0077

トレ コンアモーレ「母の日コンサート」
普段、言葉にできない「お母さん、ありがとう」の一言を音楽にのせて伝えるコンサートです。

日 時 ●5月14日(日)午後2時開演

場 所 ●かまくら館

入場料 ●前売2,000円(複数購入割引あり)
当日2,500円

問合せ ●荻田さん ☎32-9438

パーキンソン病患者さんのためのフラワーアレンジメント教室

日 時 ●5月28日(日)午後1時から

場 所 ●かまくら館(定員先着20人)

受講料 ●無料

持ち物 ●花切りハサミまたは料理用ハサミ

申込期限 ●5月12日(金)

申込先 ●日本イーライリリー(株)渡辺さん
☎022-712-8060

市民の皆さんからの「いどばたプラザ」への情報提供をお待ちしています。各種催しの参加者募集などにご活用ください。

訂正とお詫び

市報よこて4月1日号30ページで「人と愛犬のための教室」の開催日時が抜けておりました。開催日時は、「毎月第2、第4土曜日午後2時から4時」です。

また、先に市農業委員会が発行した平成18年春の農作業標準料金表で、問い合わせ電話番号「32-2172」とあるのは「35-2172」の誤りでした。

関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。



笑顔がいっぱい

市報よこて 読者プレゼント Present!

お便りをくださった方の中から抽選で
横手市の特産品をプレゼントします。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせて
いただきます
【締め切りは平成18年5月8日(当日消印有効)】

●特別製造「十文字ラーメン」(十文字)



素材にこだわり、産地を
厳選。丁寧に作り上げた
うまみあるすっきりdash
とじっくり熟成させた麺。
特別製造「十文字ラーメン」3食入りを5名様に。

【提供】林泉堂株式会社
☎42-5500

●外山十文字中華、やきそば、ざる中華セット(十文字)

十文字名産の外山十文字中
華、横手名物の横手やきそ
ば、わかめたっぷりシコシ
コ麺の十文字ざる中華。
1箱で3つの味が楽しめる
3食セットを5名様に。



【提供】合名会社外山製麺工場
☎42-0080

POST CARD

013-8601

お手数ですが
50円切手をお貼りください

横手市前郷字下三枚橋163

横手市役所
秘書広報課 行

フリガナ
◎ご氏名

◎年齢／ 歳 ◎性別／ 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□-□□□□

電話 () -

◎ご希望のプレゼントを○で囲んでください

1. 十文字ラーメン 2. 外山製麺3食セット

※(サトリ線)

たより ふれあい 語り合い

415
2006

読者の声

このページは読者の皆
さんから寄せられた声
にふれあう場です。
いろいろな声をお寄せ
ください。

帰路の雪国が明るく見えた

横手 「雪柳」さん 75歳

じつと豪雪に耐え、春を待つ
ていた私。今冬は2度の脱出を
試みました。こまちを利用した
東京日帰り旅行です。目的は展
覧会や舞台観賞ですが、便利な
世の中に生きていることに感謝
しながらの楽しいひと時でした。
まだ75歳。これからも前向きに
楽しいことに挑戦したいです。

田舎に生きる喜びを感じながら

増田 「M・K」さん 52歳

夫が事故で障害者となったこ

とをきっかけに実家のある増田
町に引っ越して以来、3度の冬
を過ごしました。昨年、今年と
大雪に悩まされましたが、2月
に思い切って沖縄旅行をしまし
た。同じ日本とは思えない暖か
さに気持ちも体もリフレッシュ
できました。田舎の人々のやさ
しさを感じながら、また頑張っ
ていけそうです。

横手を自慢できました

横手 「モ」ちゃん」さん 56歳

今冬、福岡の姉の家族がわが
家に来たのですが、あれほどの

ごしたいと心がけています。世
代の進歩と明るく生きる余生を
希望します。

ペットを飼う人の心がけ

横手 「ネ」ママ」さん

市報の記事に、旧火葬場をペ
ット用利用しようという案が
ありました。わが家でもネコを
飼っているのですが、そういう場所
があればとてもうれしいです。
実現できればいいですね。ペッ
トを飼っている家はたくさんあ
ります。マナーを守り、まわり
の人に迷惑をかけないようにし
たいものです。

私も思えば遠くへ・・・

横手 「老後が楽しい毎日です」さん 69歳

市報「思えば遠くへ来たもん
だ」を読み、昔住んでいた近所
の方が横手市内に引越している
ことに驚きました。早速、連絡
先を調べて互いに会う機会を望
む毎日です。

長い人生まだまだこれから

十文字 「まゆ吉」さん 40歳

私も40歳になり、白髪がぼつ
りぼつりと老化のサイン。市報
の特集「新サービス」に関心を

雪を見るのは初めてで、小学生
の孫達は大喜び。甥達もスノー
ボードに感激の様子。食事に行
ったお店で「九州から来ました」
と言うと、「まんず、うめーがら、
これ食ええ!」とご馳走してくれ
たりして、横手の温かい人柄に
触れて帰っていききました。

待ち遠しい私の春

横手 「御獄山」さん 41歳

ようやく雪寄せからも開放さ
れました。でも、私の本当の春
はもう少し後です。山へ行って
山菜を探り、自分でさばいて食
べる。舌で体で春を感じる。春
だなあ。雪解けから緑が見える
までの間がワクワクします。

◆ほかに「横手を離れると雪
が恋しい」という意見や、逆に
「やっぱり雪がない方が楽」と
いう意見が寄せられています。
いずれにしても、例年よりも苦
しめられた分、いろいろ考えさ
せてくれた今冬の豪雪でした。

この瞬間に「生きている!」

横手 小野寺みちよさん

毎日パンを焼いています。材
料を合わせ、こねて叩いて一次
発酵。ベンチタイム、二次発酵。
たくさん行程を経てパンが焼
きあがります。丸くてちっちゃ

くていい匂い。窓を開けて遠く
の山々を眺め、一口ほお張りま
す。それは生きていることを実
感する瞬間です。

温泉に行ったつもりで・・・

増田 「いづばい」さん 56歳

息子から「阿仁合の駅内温泉、
なかなか良かったよ」と聞き、
「そつえば温泉なんて最近行
ってないな」と思い、温泉に行
った…。という話はよくありま
すが、私の場合は温泉のもと(入
浴剤で行ったつもりになりま
した。息子よ、たまには親にも
温泉旅行をプレゼントしろー。

秋田県民のひとりとして

横手 「M・K」さん 44歳

ふるさと村で開催された「ス
ギツダンスボーカルオーディ
ション」に行きました。市内の
子ども達があまりにも少なく、
ほとんどが市外からの参加でし
た。いよいよ来年にせまったわ
か杉国体。どんな物が見当もつ
きませんが、思い切ってボラン
ティアに挑戦してみようかと思
っています。

勉強の前に必要なこと

雄物川 「ももちゃん」さん 51歳

登校の際に「おはよう」のあい

知ってもらふ必要があると思ひ
ます。

「読者の声」に苦情の掲載を

大森 「N・S」さん 41歳

読者の声は評判がよいよう
ですが、苦情もあるはず。そ
れに答える欄も加えていただけ
れば万全です。

◆たくさんのお便りをいただき、
市報がいかに市民の皆さんに頼
りにされているかを実感してい
ます。いただいたご意見につい
ては、関係する部署と連携を図
りながら、市報に掲載するもの

さつをする小学生がなくなっ
たように思います。無表情で下
を向いている子どもを見ると悲
しくさえなります。朝のあいさ
つとつで一日が決まります。
勉強よりも何よりも、まずは朝
の「おはよう」を教えてあげたい
ものです。

きれいな郷土住みよい街に

横手 「春のそよ風」さん 50代

ふるさと村の近くに住んでい
ますが、道に捨てられたごみの
多さに驚いています。拾ってく
れる方も見かけますが、私の心
がけが悪いのか、拾い集める事
さえいい気持ちがないほどで
す。捨てる人がいなければ拾わ
なくてもいいですよ。

長寿の喜び

増田 大類アヤ子さん

農家に生まれ育ち、農家に嫁
ぎ、若い時は働く事で精一杯で
したが、60歳なって初めて趣味
の時間が取れるようになりました。
今では8市町村が合併し、
ほかの地域の方が学んでいる事
も市報によって幅広く知ること
ができます。お年寄りの介護支
援も充実している様で、安心し
ている現在です。自分としては、
常に心身ともにボケないように
気を配り、一日一日を大切に過

と直接回答するものとを判断し
ています。

移動販売の母からメッセージ

平鹿 「古城址の杉の祠のK.T」さん 73歳

夏の暑い日も、猛吹雪の日も、
背中を丸めて未舗装の仁坂街道
を横手へと急ぐ母。こんな日は
休んだらと言つと「約束だから」
とリヤカーを引く。今、「私達も
横手市になったよ」と言えば、あ
の世の母から「まんず、いがった
な。あの人この人世話になった
ものなあ」とメッセージが届き
そつ。幼い頃から縁のあるわれ
らの横手市よ、永遠に栄あれ!

増田地域

山形麗子さん（50歳）

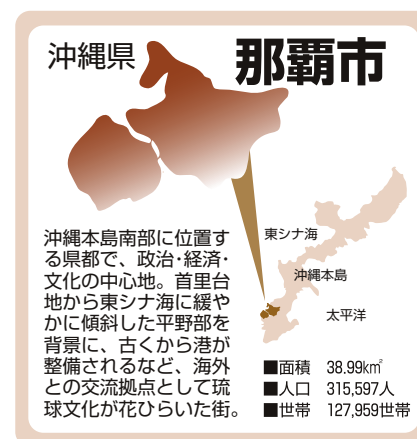


沖縄県那覇市出身。夫、子3人、
義父、義母の7人家族。

山形さんは、沖縄県那覇市出身。仕事で那覇市を訪れていた夫の友春さんと知り合い結婚。数年の沖縄生活の後、友春さんの両親の住む増田町にやってきました。

「子どものためにも、自然豊かな秋田で暮らすのが良いと判断しました。若かったので、寒さも苦になりませんでしたし、沖縄ではそれほど感じる事ができなかった四季の移り変わりを実感できました」と当時を振り返ります。

秋田に来てからは子育てに追われる日々でしたが「地元の人との交流の場をもったほうがいい」と友春さんの勧めで増田町のママさ



「バレーボールチームに入部。以来、その気さくな人柄で友人もたくさんできました。」

「バレーボールを通じてたくさんの人と知り合うことができました。郷土料理を教えてもらったり、飲み仲間ができたり(笑)、秋田で暮らす楽しさが増えましたね」

麗子さんは現在、フットセラピストの資格を取得し、主に足のマッサージ師として活躍しています。「これからは、この資格を老人ホームなどのボランティア活動に活かし、地域に貢献していきたいと思っています」と語る麗子さん。故郷を遠く離れた秋田で、いきいきと暮らす毎日です。

読者プレゼントにご協力を

市報よこてでは、市内業者の皆さんへ「読者プレゼント」へのご協賛をお願いしています。

横手市内にあるたくさんの特産品や名産品を市報を通して市民の皆さんに知っていただくと共に、市内全世帯に配布される広報紙を活用した商品の宣伝に、ぜひ市報よこてを ご活用ください。

■連絡先 秘書広報課：広報広聴担当(☎35-2162)

編集後記

◆「この漢字の読みかたは？」最近この手のクイズ番組をよく見かけます。職務柄、多少自身有り風にクイズに参加……わかりません。パソコン漬けの毎日、あたり前ですね。そこでついに秘密兵器を購入。脳年齢を20代に戻します。

(卓)

◆春は物入り。入所、入学、誕生日×2、歓送迎会等々。気付くと財布は空っぽ…。気を取り直して取材に出かけるが、花粉症の私は、目がかゆくて、鼻水が止まらない。天気が良いほど、憂鬱な日々。元気な子どもたちを見習わないと。(克彦)

◆またひとつ年齢を重ね
大台まであと1年となつた。取材で出会った人の
数を数える指が足りない
が、今年も多くの人に
出会い、多くのことに
気がされることだろう。
他人事のようにだが、
1年後の自分がどう
変わっているか楽しみだ。
(孝春)

◆新年度になり、人事異動による新たな出会いや別れなど人と人が行き交う日々です。お世話になった方々との別れには寂しさが募りますが、また新たな人たちと出会えたことに喜びを感じます。今年度も活力ある一年にしたいですね。(小百合)



株式会社柏建設
グリーンコーディネイターKAS IWA

鈴木節子さん(57歳・大雄)



安らぎを生む優れた感性

【其の六】

TAKUMI
たくみ

曲線で癒^{いや}しの空間を演出

生活に彩りを添え、家族のふれあいの場となる「庭」を創造するグリーンコーディネイター。一般に、造園またはガーデニングと一口に言っても、その目的や形は実に多種多様である。

「時には、外部の視界を遮断するのも庭の役目。現場を見た瞬間にイメージが湧いてくる」

後回しにされがちだった庭も家
の一部とする巧にとっては、そこ
にあるすべての物が素材。お客様の
希望に応えるため、花・木・岩
の表情を生かしたトータルデザイ
ンを提案する。そして、その感性
の確かさは口コミで広まっている。

「テーマは和み。何となく心がさ
みしく感じる今の時代だからこそ、
ゆとりを庭という空間に託す。造
園業は力ではなく、気持ちと技術」

女性であるという理由で、仕入れ先で悔しい思いをしたこともあるという。「マニュアルどおりではつまらないし、同じものは二度と作らない。目指すのは、地元の風土に合った私ならではの作品ですね」と語る姿から、女性らしい心配りとこだわりが伝わってきた。



昭和24年、大雄村生まれ。昭和47年に、後に柏建設を営むこととなる賢一さんと結婚。会社設立から3年後の平成8年に造園部門を立ち上げ、昨年5月からは、窓辺にモデルガーデンを眺めるレストラン「蓮」を、長女・香織さんとともに経営する。

1級造園施工管理技士。

じだい つなぐ われらが しほう
次代に継ぐ我らが至宝

よこて遺産

THE YOKOTE HERITAGE
No.6

【平鹿地域】

浅舞のケヤキ

県指定天然記念物

平鹿地域浅舞地区、感恩講保育園の敷地にそびえ立つケヤキの巨樹。樹齢500年を超え、「楓の木」の愛称で老若男女から親しまれているこの木は、江戸時代後期の菅江真澄の著書『雪の出羽路』にも登場し、平鹿のシンボルとなっています。

県の天然記念物に指定された昭和43年当時には幹囲8・3メートル、樹高35メートル、枝張り30メートルもありました。現在は老木のため樹高は25メートルほど。昭和63年から毎年行われている「楓の木光のファンタジー」では、鉄パイプで約40メートルのやぐらを組み、約5千個の電球で飾られ、往古の高さを取り戻した巨大ツリーに生まれ変わります。